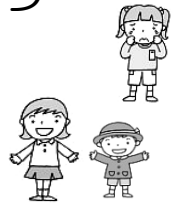




こんにちは！ 日本共産党の 小山ゆりえです

救急医療体制の確保を！

小児医療センター存続へ 署名を集めましょう



6月2日に中央公民館で開催された『小児医療センターの移転問題を考える学習会』の中で、「孫がけいれんを起こし、救急車を呼んだが小児医療センターにも断られ、受け入れ先が決まらず40分も救急車の中で待たされた。ようやく春日部市立病院に搬送され助かった」との発言がありました。

おとなの場合でも、今年1月に36回も搬送を拒否され死亡する事故がありました。救急医療体制の問題は深刻です。

小児の場合は状況把握等の難しさ、症状の急変など、よりいっそう深刻であり、蓮田地域にとって小児医療センターは、なくてはならない病院です。全ての機能を現在地に存続させていくために、署名活動をすすめていきましょう。

(小山ゆりえ)



小児医療センター
〔市議会だよりより〕

埼玉県知事 上田清司様

県立小児医療センターの現在地での存続・充実を求める要望署名

県立小児医療センターの現在地での存続を求める連絡会
 県立小児医療センターの存続を求める春日部市会
 県立小児医療センター移転問題を考える蓮田市の会
 県立小児医療センター移転問題を考える白岡市の会
 県立小児医療センターの存続を求める杉戸市の会

事務局：春日部の会 村松敦子
 TEL・FAX 188-048-754-2656
 080-5592-3658

県立小児医療センター移転発表から2年。現在地での存続を願う県民の声は、一層大きく広がっています。
 知事が「何らかの機能を残す」と発言し、医療スタッフを中心とした検討委員会が、現在地に残す機能について検討をおこなっていることは、県民と患者の切実な声に応えるものとして期待しております。
 しかし、県東部北地域の小児救急の実態は、入院できる小児科が極端に少なく、NICUは1床もありません。本来、三次救急をおこなうべき小児医療センターが二次救急を担わざるを得ない、という地域医療の実態があります。広大な小児救急の空白地域を生み出すことはあってはなりません。小児医療センターの移転で、子どもたちの命が危ぶまれる事態を生まないために、小児医療の一層の充実を強く要望します。

記

- 1 県立小児医療センターの全ての機能を現在地に存続してください。
- 2 現在地に残す機能の検討にあたっては、慢性期通院患者の総合的診療及び救急の対応とあわせて、NICUなど、小児救急の空白をつくらない対策を講じてください。

名前	住所

現在取り組まれている新しい署名用紙
(縮小して載せてあります)

アベノミクスで
くらしはよくなりましたか？

こんな質問をこの後援会ニュースの読者の方たちに行なったところ、ほとんどが間髪入れずに「変わらない」「ちっともよくならない」との回答でした。「共産党は、国民のふところをあつためてこそ景気がよくなる」と考えています」と言いつつ、「その通りだよ」と返ってききました。

7月に行なわれる参院選挙は、アベノミクスに代表される大企業応援の経済と憲法を変えて国防軍を持つとする自民党型の政治か、消費税増税ストップ・国民のふところをあたため平和憲法を守る政治かが問われる選挙となります。

埼玉選挙区と比例代表5人の当選で、憲法を生かし、命とくらしをまもるために、日本共産党への支援の輪をさらに広げていきましょう。

憲法を生かし 命と暮らしを支える政治を

全国はひとつ **参議院比例代表 5人を必ず国会へ**

埼玉選挙区 予定候補者 伊藤 岳

はすだ9条の会

「5・12つどい」に多彩な参加者

5月12日(日)午後2時から蓮田市図書館2Fで「憲法を守る市民のつどい」を開催し、多くの方々の参加で盛況でした。

宣伝カーの案内を聞いて参加した人、駅頭ピラで知って参加した人、会員へのお知らせで参加した人など、総勢48人のつどいとなりました。若い人の参加もあり、率直な疑問や意見も出て、良い話し合いの場となりました。

終わらない戦争の被害

改めて考える

「戦争は終わっても戦争被害はその後も永く続いていて、今でも終わっていない」という講師の話は、多くの人に感銘を与えました。中国残留婦人の問題やその他多くの戦争被害の例を引き、「だから戦争は絶対始めてはなら



上は挨拶する講師の伊須弁護士
下は図書館2Fでのつどいの様子

ない」という講師の話が皆の気持ちになったように思います。

私たちのような憲法改悪反対の取り組みが全国に広まっています。講師の伊須弁護士が事務局長を務める埼玉自由法曹団には、60を超える学習会の講師派遣要請が来ているそうです。

「はすだ9条の会」は今後も各種の学習会を続けていきます。6月30日(日)は「戦争をしない国 日本」の上映会を計画しました。多数の参加で成功させたいと思います。

(「はすだ9条の会」事務局 富江)

6.2原発ゼロをめざす中央集会 蓮田からも参加しました



舞台上でマイクを握る船橋さんと
下は新婦人の会蓮田支部の方々

6月2日(日)に明治公園で行われた「原発ゼロをめざす中央集会」に蓮田からも新婦人の会や医療生協、埼玉土建などの方々が参加しました。

その集会で黒浜在住の船橋さんが、新婦人の会蓮田支部と「放射能から子どもを守る会蓮田」で取り

組んでいる放射線量測定や映画上映などの活動を、1万8千人の参加者の前で報告し、大きな拍手を受けました。集会後はデモ行進をして国会前の包囲行動に合流しました。

黒浜後援会の総会

が開かれました

4月20日(土)の午前に蓮田市環境学習館で日本共産党黒浜後援会の定例総会が開催されました。

総会では飯島会長以下、役員全員が再選されました。総会后引き続き行われたTPPの学習会では並木としえさんが講師をつとめ、わかりやすく説明されました。

これを契機に、7月の参院選ではなんとしても前進しようとの思いを強くして閉会となりました。



熱心に討議する総会参加者

